

中学校第3学年 道徳科学習指導案

学習指導者 観音寺市立大野原中学校 高橋 理恵子

1 主題名 遵法精神、公德心【内容項目C-(10)】

2 資料名 二通の手紙

3 授業の見どころ

二通の手紙を受け取り、元さんが晴れ晴れとした顔で職場を去ったことの意味を考えることを通して、きまりの意義を理解し自らきまりを守ろうとする道徳的実践意欲を育てる。自分ならどう対応するか、多様な意見を交流させ、これからの生活について自分なりの考えをもたせる。(学びがいのある課題)

4 本時の学習指導

(1) 目 標

- ① 判断に迷う状況において自分ならどう対応するか、自分のこととして考えることができる。
- ② 晴れ晴れとした表情で自ら職場を去る元さんの思いについて、意見交流を通して様々な角度から考えることができる。

(2) 学習指導過程

学習内容及び学習活動	予想される生徒の反応	教師の指導の工夫・評価
1 事前アンケートの結果を知る。 2 資料の導入部分を読み、自分だったらどうするか考える。 あなたなら、どう対応しますか。 3 資料の前半部分を読む。 ・元さんが姉弟を入園させるかさせないかで悩んでいる理由を考える。 姉弟を入園させた元さんの行動に賛成か、反対か、その理由は何ですか。 4 資料の後半部分を読む。	・学校にルールは必要だ。 ・なぜ守らないといけないのか。 開ける・せっかく来てくれたし、少しぐらいはいいのでは 開けない・やはり規則なので守る 入園させたい ・弟の誕生日だし、動物好きの2人に見せてやりたい 入園させられない ・入園時刻を過ぎ、保護者同伴という規則にも反する 賛成・いつも子供だけで動物園をのぞいていて、入園料も持っていた 反対・入園終了時刻を過ぎ、小学生以下は保護者同伴という規則がある	・アンケート結果を示し、学習への意欲を高める動機付けにする。 ・入園時間が数分過ぎて、入場門が閉まった後にきた客に対し、自分ならどのように対応するか意思表示させる。 評価(記述、発言)読み物教材の登場人物に自分を置き換えて考え、自分なりに具体的にイメージして理解しようとしているか。 ・場面や状況を想像させながら、聞くことを伝える。 ・心情メーターで意思表示させる。 ・判断の理由付けを大切にさせる。 ・自分と同じまたは違う、気になる友達の考えを聞いたり、伝えたりしてに交流させる。
なぜ、元さんは晴れ晴れとした顔で職場を去ることができたのでしょうか。		
・二通の手紙に着目させる。 ・母親からの手紙 ・職場からの手紙	・姉弟の思いを大事にしたいと思ったが、事故が起きていたらお母さんも喜んでくれない。 ・よかれと思ってしたことが、結局仲間には迷惑をかけ、姉弟を危険な目に遭わせてしまい、規則を守る事の大切さに改めて気付けたから。 ・自分がやったことは考えが浅かったが今後は自信をもって生きていけると思ったから。	・個人で考えさせ、ワークシートに記入させる。 ・グループで、お互いに自分の意見を発表しあう。 ・グループごとに、みんなの意見を発表させる。(ホワイトボードを利用)
5 本時の学習を振り返る。	・元さんのように入園させる。子どもの気持ちを大切にしたい。でもきまりの大切さもよくわかった。 ・佐々木さんのように入園させない。事故や命の危険には替えられない。 ・正直判断に迷う。	・机間巡視で、代表的な意見の生徒に発表させる。 評価(記述)自己を振り返り、道徳的価値や人間としての生き方についての考えを深めているか。